平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

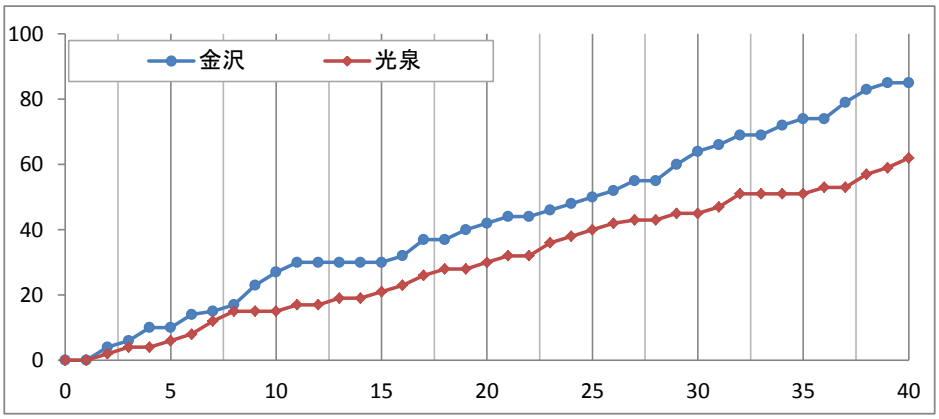
男子　2回戦

主審　堀内　　純

副審　小澤　朋克

金沢	85	27	15	22	21		62　光泉
（石川）	○	－	－	－	－		●　（滋賀）
		15	15	15	17		

No. 30e3　　日時：2013年7月30日（火）13:20　　会場：大分県立総合体育館



金沢

No.	選手氏名		得点	3P	2P	FT	F
4	＊ 長野　誠史	(C)	18	0	9	0	1
5	＊ 木田　貴明		29	2	9	5	3
6	＊ 吉川　和希		17	1	7	0	1
7	＊ 村上　直哉		4	0	2	0	1
8	高田　祐希		9	1	2	2	4
9	田中　大成		2	0	1	0	0
10	北　寿王		5	0	2	1	0
11	＊ 小林　翼		0	0	0	0	2
12	中村　優作		1	0	0	1	0
13	涌波　茄生		0	0	0	0	2
14	牧田　直也		0	0	0	0	0
15	島崎　凌		0	0	0	0	0
コーチ	大舘　慶徳						
		合計	85	4	32	9	14

光泉

No.	選手氏名		得点	3P	2P	FT	F
4	＊ 杉　聖真	(C)	11	0	5	1	2
5	下川　剛央		0	0	0	0	0
6	＊ 杉本　亮太郎		6	0	3	0	2
7	＊ 東　大洋		0	0	0	0	1
8	＊ 杉　涼平		6	0	3	0	3
9	高木　克大		0	0	0	0	0
10	＊ 雲林院　昌人		21	0	9	3	1
11	関西　正成		0	0	0	0	0
12	高木　伸久		12	0	5	2	2
13	丸田　晶稀		6	2	0	0	0
14	曽我　亮太		0	0	0	0	2
15	奥田　克彦		0	0	0	0	1
コーチ	寺田　均						
		合計	62	2	25	6	14

＊…スターター　(C)…キャプテン　3P…3点シュート　2P…2点シュート　FT…フリースロー　F…ファウル

戦　評

金沢#7光泉#10のセンタージャンプでゲームスタート。金沢はハーフのマンツーマンDef、光泉は2-3のゾーンDefで守りを固める。光泉はインサイドの高さの優位を利用して#10を軸に攻撃を組み立てる。対して金沢は速攻と45度からのドライブとドライブからのアウトサイドシュートで得点する。1本目のTO後、光泉は15－17と追撃するが、終盤、金沢の#8、#6が連続してスティールしシュートを決めるなど5連続ポイント（金沢27－15光泉）で第1ピリオドを終了する。第2ピリオド金沢は早いパス回しとドライブ、合わせのアウトサイドシュートで光泉のゾーンDefを揺さぶり得点する。光泉も#10のローポストからの攻めと#4、#6のドライブを軸に得点を重ねる。双方一進一退の攻防を繰り返し、金沢42－30光泉で第2ピリオドが終了する。

第3ピリオド金沢のOffはさらにテンポが速くなる。アウトサイドを警戒した光泉のゾーンDefに対し、インサイドの1対1を仕掛ける場面も見られた。光泉はスクリーンプレイによる#4、#8のミドルシュートや、#10のリング下のシュートに持ち込み追いすがる。第3ピリオド終盤、金沢はオールコートマンツーマンDefでプレッシャーをかけ、光泉のミスを誘い、金沢64－45光泉でこのピリオドを終了した。勝負の第4ピリオド、光泉はDefをハーフのマンツーマンDefに切り替え、ゲームの流れを変えようとする。金沢は一本一本のOffプレイをあわてず、時間を使い、確実に組み立てる。光泉は速い展開から3Pシュートで追撃する展開に持ち込みたいところであるが、終始あわてず、ゲームの流れを作っていった金沢が85－62で勝利した。インサイドプレイを軸に勝負した光泉、ランニングプレイで走り続けた金沢、双方の個性が際立ったナイスゲームであった。

記載者　前田　廷二　（所属）大分県バスケットボール協会

Copyright(c) 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved